

教科	国語科	学年	3 学年	標準授業時数	105 時間(週3 時間)
----	-----	----	------	--------	---------------

○教科について

目 標	教科目標	<ul style="list-style-type: none"> ・国語を通して内容や事柄を適切に表現する能力や、国語の使い方や内容や事柄を正確に理解する能力を身につけ、伝え合う力を高めること。 ・言語を手がかりとしながら論理的に思考する力や豊かに想像する力を養い、国語の重要性に対する認識を深めつつ、国語を愛護し、尊重して、国語そのものをいっそう優れたものに向上させていこうとする意識や態度を育てること。
	具体目標 (到達目標)	<ul style="list-style-type: none"> ・学習する内容に興味・関心をもって取り組む。 ・自分の考えたことを根拠とともに言葉で表現しまとめる。 ・自分の意見を相手に分かるように伝える。 ・文章を通じて、主題、筆者の主張、登場人物の心情の変化、作者のものの見方や感じ方を捉える。 ・学習した内容を整理し、理解する。

○評価について

評 価 点	観 点	知識及び技能	「言葉の働き」「話し言葉と書き言葉」「漢字」「語彙」「文や文章」「言葉遣い」「表現の技法」など、言葉の特徴や使い方に関して評価する。
		思考力、判断力、表現力	「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」に関して評価する。
		主体的に学習に取り組む態度	国語科の学習内容に関心を持ち、自ら課題に取り組もうとする意欲や態度を評価する。 学習内容に即して設定する観点であるため、いずれの単元にも位置づけることとする。
	評価の方法	○定期試験 ○小テスト ○課題(作文・書写作品など) ○振り返りシート ○活動観察	

○学習について

学 習 方 法	使用教材	教科書 ワーク 漢字学習ノート ファイル			
	学習形態	一斉学習 少人数グループ学習 個別学習			
	学習の てびき	<table border="1"> <tr> <td>学 校</td> <td> <p>【授業】先生の話をよく聞き、何が重要かを考えながら、話に集中しましょう。また、黒板に書かれたことをノートに写すだけではなく、先生の言葉や自分で考えたことをノートにメモしておくことが大切です。</p> <p>【日常】朝の読書では必ず集中して本を読みましょう。また、場面や相手に適した言葉づかいを常に意識しましょう。生活ノートの短い記録も毎日最後まで書くように意識して行えば表現力アップに大変役立ちます。</p> </td> </tr> <tr> <td>家 庭</td> <td> <p>【予習】教科書の本文を何度もよく読み、新しく出てきた漢字や語句を辞書で調べて内容をとらえます。漢字や語句を練習するノートは専用のものを用意しましょう。</p> <p>【復習】教材ごとに漢字や語句を確実にします。中学校では、小学校で学習したのとはほぼ同数の漢字を、半分の期間である3年間で学習します。本文も何度も読み、授業を思い出しながらノートを見直しましょう。授業があった日には必ず復習しましょう。</p> <p>新聞や本を読む習慣をつけ、その内容に関して自分の意見をまとめてみましょう。</p> </td> </tr> </table>	学 校	<p>【授業】先生の話をよく聞き、何が重要かを考えながら、話に集中しましょう。また、黒板に書かれたことをノートに写すだけではなく、先生の言葉や自分で考えたことをノートにメモしておくことが大切です。</p> <p>【日常】朝の読書では必ず集中して本を読みましょう。また、場面や相手に適した言葉づかいを常に意識しましょう。生活ノートの短い記録も毎日最後まで書くように意識して行えば表現力アップに大変役立ちます。</p>	家 庭
学 校	<p>【授業】先生の話をよく聞き、何が重要かを考えながら、話に集中しましょう。また、黒板に書かれたことをノートに写すだけではなく、先生の言葉や自分で考えたことをノートにメモしておくことが大切です。</p> <p>【日常】朝の読書では必ず集中して本を読みましょう。また、場面や相手に適した言葉づかいを常に意識しましょう。生活ノートの短い記録も毎日最後まで書くように意識して行えば表現力アップに大変役立ちます。</p>				
家 庭	<p>【予習】教科書の本文を何度もよく読み、新しく出てきた漢字や語句を辞書で調べて内容をとらえます。漢字や語句を練習するノートは専用のものを用意しましょう。</p> <p>【復習】教材ごとに漢字や語句を確実にします。中学校では、小学校で学習したのとはほぼ同数の漢字を、半分の期間である3年間で学習します。本文も何度も読み、授業を思い出しながらノートを見直しましょう。授業があった日には必ず復習しましょう。</p> <p>新聞や本を読む習慣をつけ、その内容に関して自分の意見をまとめてみましょう。</p>				

○学習内容

月	時数	単元名・項目	学習のポイント
4	1	世界はうつくしいと	・作者の思いを捉え、表現の特徴を生かして朗読する。
	5	握手	・登場人物の考えや生き方を読み取り、自分の考えを持つ。
	1	聞く	・意見や根拠の適切さを判断し、助言を考える。
	2	文法への扉1 文法を生かす	・文法の知識を生かした推敲や読解の視点を持つ。
5	3	説得力のある構成を考えよう	・聞き手の立場や関心を踏まえ状況に応じた表現を工夫する。
	1	言葉1 相手や場に応じた言葉遣い	・言葉遣いについて理解し、適切な表現の選び方を考える。
	4	学びて時に之を習ふー「論語」から	・孔子の考え方を自分たちと関連づけて考える。
	4	作られた「物語」を超えて	・論説の特徴を踏まえ、論理の展開のしかたを捉える。
6	1	思考のレッスン 具体化・抽象化	・具体と抽象など情報と情報との関係について理解する。
	4	論理の展開を意識して書こう	・説得力のある論理の展開を考える。
	1	漢字1 熟語の読み方	・熟語の構成と読み方について理解を深める。
	4	俳句の可能性 俳句を味わう	・俳句に描かれた情景や心情、作者の思いを捉える。
7	3	言葉の釣り糸を垂らす	・言葉に対する筆者のものの見方や考え方を理解する。
	1	言葉2 和語・漢語・外来語	・和語・漢語・外来語、混種語について理解する。
	3	実用的な文章を読もう	・実用的な文章を読み、実生活への生かし方を考える。
	1	情報整理のレッスン 情報の信頼性	・情報の信頼性を確かめ、理解する。
8	1	読書を楽しむ	・読書の楽しさや意義について考える。
	2	挨拶ー原爆の写真によせて	・現代社会の状況と重ね合わせながら、詩を読む。
9	5	故郷	・場面を比較し、登場人物の変化を捉えて読み深める。
	1	言葉3 慣用句・ことわざ・故事成語	・豊富な用例に触れ、言葉の言い回しや意味を理解する。
	1	漢字2 漢字の造語力	・漢字の造語力について理解する。
	1	聞き上手になろう	・展開を予測しながら聞き、質問を通して相手の思いに迫る。
	6	【書写】効果的に書こう	・目的に応じて効果的に文字を書くことを理解する。
10	4	複数の意見を読んで、考えよう	・筆者のものの見方考え方を他者と比べ批判的に読む。
	3	考えを効果的に伝えよう	・論理の展開や表現を工夫する。
	1	文法への扉2 文法のまとめ	・3年間で学んだことを振り返りながら確認する。
	2	初恋	・表現や語句の効果に注目し、言葉への豊かな感覚を持つ。
11	2	和歌の世界 古今和歌集 仮名序	・繰り返し声に出して読み、古文の言葉の響きを味わう。
	4	君待つと一万葉・古今・新古今	・歴史的背景から、和歌に詠まれた情景や心情を読み取る。
	5	夏草ー「おくのほそ道」から	・作者のものの見方や感じ方を読み取る。
	3	それでも、言葉を	・言葉に対する筆者の捉え方や考えに理解を深める。
12	1	漢字3 漢字のまとめ	・三年間で学んだ漢字を復習する。
	1	話し合いを効果的に進める	・論点を整理し、展開を捉えて話し合う。
	4	合意形成に向けて話し合おう	・合意形成のために必要なことや改善点を捉える。
1	2	温かいスープ	・筆者の考える「国際性」の基本を捉える。
	2	わたしを束ねないで	・作者の思いを捉え、自分の可能性について考える。
2	5	【書写】三年間のまとめ	・これまでに学習したことを生かして作品を作る。
	6	三年間の歩みを振り返ろう	・3年間の学びを振り返りながら自分の考えを深める。
3	4	学習を振り返ろう	・これまでに学習したことを振り返る。
計	105		

【注意】内容が前後することもあります。

教科	社会科	学年	3 学年	標準授業時数	140時間(週4時間)
----	-----	----	------	--------	-------------

○教科について

目 標	教科目標	社会的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の形成者に必要な公民としての資質・能力の基礎を養う。
	具体目標 (到達目標)	<p>(1) 我が国の国土と歴史、現代の政治、経済、国際関係等に関して理解するとともに、調査や諸資料から様々な情報を効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2) 社会的事象の意味や意義、特色や相互の関連を多面的・多角的に考察したり、社会に見られる課題の解決に向けて選択・判断したりする力、思考・判断したことを説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。</p> <p>(3) 社会的事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される我が国の国土や歴史に対する愛情、国民主権を担う公民として、自国を愛し、その平和と繁栄を図ることや、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。</p>

○評価について

評 価	観 点	知識及び技能	我が国の国土と歴史、現代の政治、経済、国際関係等に関して理解しているとともに、調査や諸資料から様々な情報を効果的に調べまとめている。
		思考力、判断力、表現力	社会的事象の意味や意義、特色や相互の関連を多面的・多角的に考察したり、社会に見られる課題の解決に向けて選択・判断したり、思考・判断したことを説明したり、それらを基に議論したりしている。
		主体的に学習に取り組む態度	社会的事象について、国家及び社会の担い手として、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとしている。
	評価の方法	<p>○定期試験 ○小テスト（単元テストなど）</p> <p>○提出物（授業ノートやレポートなど）</p> <p>○活動観察（グループ学習や全体交流での行動や発言など）</p>	

○学習について

学 習 方 法	使用教材	○教科書（東京書籍） ○地図帳（帝国書院） ○社会の学習（とうほう） ○授業プリント（授業者作成） ○授業ノート（各自で用意すること）
	学習形態	一斉授業を基本とし、場面に応じてグループ学習を取り入れた形式で行う。
	学習の てびき	<p>○一回一回の授業を大切にすること。以下の問いを意識して授業を受けましょう。</p> <p>→「授業準備はできたか？/提出物の提出期限を守ることができているか？」</p> <p>→「何を学ぶのか/何を考えるのか（“めあて”など）が分かっているか？」</p> <p>→「友達がどんな考えを持っていて、自分の考えとどう違うのかなどに興味を持って、友達の考えを聞いたり、友達に自分の考えを伝えたりすることができているか？」</p> <p>→「分からないこと（疑問など）を、先生や友達に質問することができているか？」</p> <p>○授業の予習と復習をすること。以下の問いを意識して家庭学習をしましょう。</p> <p>→「授業で何を学んだか？/何が理解できたか？」</p> <p>→「授業で学んだことを、どう今後の学習や生活に生かすか？」</p> <p>→「どうすれば、次の授業でもっとしっかり考え、意見を言うことができるか？」</p>

○学習内容

月	時数	単元名・項目など	学習のポイント
4	12	<p>【<u>歴史的分野（31時間）</u>】</p> <p>●歴史的分野の復習（1～2年生）</p> <p>●第7章 現代の日本と私たち 【占領下の日本～独立の回復と55年体制】</p>	<p>・冷戦，我が国の民主化と再建の過程，国際社会への復帰などを基に，第二次世界大戦後の諸改革の特色や世界の動きの中で新しい日本の建設が進められたことを理解できる。</p>
5	14	<p>●第7章 現代の日本と世界 【緊張緩和と日本外交～持続可能な社会に向けて】</p>	<p>・高度経済成長，国際社会との関わり，冷戦の終結などを基に，我が国の経済や科学技術の発展によって国民の生活が向上し，国際社会において我が国の役割が大きくなってきたことを理解できる。</p> <p>・諸改革の展開と国際社会の変化，政治の展開と国民生活の変化などに着目して，事象を相互に関連づけるなどして，現代の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し，表現することができる。</p>
6	5	<p>●歴史的分野の総整理</p> <p>◎平和教育プログラム</p>	<p>・これまでの学習を踏まえ，歴史と私たちとのつながり，現在と未来の日本や世界の在り方について，課題意識をもって多面的・多角的に考察，構想し，表現することができる。</p> <p>・歴史分野の学習内容を振り返ることができる。</p> <p>・平和について考えることができる。</p>
6	10	<p>【<u>公民的分野（100時間）</u>】</p> <p>●第1章 現代社会と私たち 【持続可能な社会に向けて～多文化共生を目指して】</p>	<p>・現代日本の特色として少子高齢化，情報化，グローバル化などが見られることについて理解できる。また現代社会における文化の意義や影響についても理解できる。</p> <p>・位置や空間的な広がり，推移や変化などに着目して，少子高齢化，情報化，グローバル化などが現在と将来の政治，経済，国際関係に与える影響について多面的・多角的に考察し，表現することができる。</p>
7	12	<p>●第1章 現代社会と私たち 【社会集団の中で生きる私たち～決まりの評価と見直し】</p>	<p>・現代社会の見方・考え方の基礎となる枠組みとして，対立と合意，効率と公正などについて理解できる。</p> <p>・対立と合意，効率と公正などに着目して，社会生活における物事の決定の仕方，契約を通じた個人と社会との関係，きまりの役割について多面的・多角的に考察し，表現することができる。</p>
9	15	<p>●第2章 個人の尊重と日本国憲法 【人権の歴史と憲法～「公共の福祉」と国民の義務】</p>	<p>・人間の尊重についての考え方を，基本的人権を中心に深め，法の意義を理解できる。</p> <p>・民主的な社会生活を営むためには，法に基づく政治が大切であることを理解できる。</p> <p>・日本国憲法が基本的人権の尊重，国民主権及び平和主義を基本的原則としていることについて理解できる。</p> <p>・対立と合意，効率と公正，個人の尊重と法の支配，</p>

			民主主義などに着目して、我が国の政治が日本国憲法に基づいて行われていることの意義について多面的・多角的に考察し、表現することができる。
10	15	<p>●第2章 個人の尊重と日本国憲法 【新しい人権～グローバル社会と人権】</p> <p>●第3章 現代の民主政治と社会 【政治と民主主義～選挙の課題と私たちの政治参加】</p>	<p>・国会を中心とする我が国の民主政治の仕組みのあらましや政党の役割を理解できる。</p> <p>・議会制民主主義の意義、多数決の原理とその運用の在り方について理解できる。</p> <p>・対立と合意、効率と公正、個人の尊重と法の支配、民主主義などに着目して、社会の変化に伴って新しい人権が認められてきた理由や、民主政治の推進と、公正な世論の形成や選挙など国民の政治参加との関連について多面的・多角的に考察、構想し、表現することができる。</p>
11	15	<p>●第3章 現代の民主政治と社会 【国会の地位と仕組み～住民参加の拡大と私たち】</p>	<p>・国民の権利を守り、社会の秩序を維持するために、法に基づく公正な裁判の保障があることについて理解できる。</p> <p>・地方自治の基本的な考え方について理解できる。その際、地方公共団体の政治の仕組み、住民の権利や義務についても理解し、公正な世論の形成や選挙など国民の政治参加との関連について対話的な活動を通じ、多面的・多角的に考察、構想し、表現できる。</p>
12	12	<p>●第4章 私たちの暮らしと経済 【私たちの消費生活～労働環境の変化と課題】</p>	<p>・身近な消費生活を中心に経済活動の意義について理解できる。また対立と合意、効率と公正、分業と交換、希少性などに着目して、個人や企業の経済活動における役割と責任についても考えることができる。</p> <p>・勤労の権利と義務、労働組合の意義及び労働基準法の精神について理解できる。</p> <p>・対立と合意、効率と公正、分業と交換、希少性などに着目して、社会生活における職業の意義と役割及び雇用と労働条件の改善について多面的・多角的に考察し、表現することができる。</p>
1	14	<p>●第4章 私たちの暮らしと経済 【市場経済の仕組みと金融～経済の持続可能性と真の豊かさ】</p> <p>●第5章 地球社会と私たち 【国際社会における国家～新興国の台頭と経済格差】</p>	<p>・市場経済の基本的な考え方について理解できる。その際、市場における価格の決め方や資源の配分について理解できる。また対立と合意、効率と公正、分業と交換、希少性などに着目して、社会生活における職業の意義と役割及び雇用と労働条件の改善についても考えることができる。</p> <p>・社会資本の整備、公害の防止など環境の保全、少子高齢社会における社会保障の充実・安定化、消費者の保護について、それらの意義を理解できる。また財政及び租税の意義、国民の納税の義務についても理解できる。</p> <p>・世界平和の実現と人類の福祉の増大のためには、国際協調の観点から、国家間の相互の主権の尊重と協力、各国民の相互理解と協力及び国際連合をはじめとする国際機関などの役割が大切であることを理解</p>

			できる。その際、領土（領海、領空を含む）、国家主権、国際連合の働きなど基本的な事項について理解できる。
2	7	<ul style="list-style-type: none"> ●第5章 地球社会と私たち 【地球環境問題～より良い地球社会を目指して】 ●終章 より良い社会を目指して 	<ul style="list-style-type: none"> ・地球環境、資源・エネルギー、貧困などの課題の解決のために経済的、技術的な協力などが大切であることを理解できる。 ・対立と合意、効率と公正、協調、持続可能性などに着目して、日本国憲法の平和主義を基に、我が国の安全と防衛、国際貢献を含む国際社会における我が国の役割について多面的・多角的に考察、構想し、表現することができる。 ・社会的な見方・考え方を働かせ、私たちがより良い社会を築いていくために解決すべき課題を多面的・多角的に考察、構想し、自分の考えを説明、論述することができる。 ・私たちがよりよい社会を築いていくために解決すべき課題について、現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に関わろうとすることができる。
2	7	<ul style="list-style-type: none"> ●3年間の社会科を振り返って 【歴史的分野（9時間）】 ●歴史的分野の総復習（1～3年生） 	<ul style="list-style-type: none"> ・3年間の学習内容を振り返ることができる。 ・歴史分野の学習内容を振り返ることができる。
3	2	●歴史的分野の総復習（1～3年生）	・歴史分野の学習内容を振り返ることができる。
計	140		

【注意】内容が前後することもあります。

教科	数学	学年	3年	標準授業時数	140時間(週4時間)
----	----	----	----	--------	-------------

○教科について

目 標	教科目標	数学的活動を通して、数量や図形などに関する基礎的な概念や原理・法則についての理解を深め、数学的な表現や処理の仕方を習得し、事象を数理的に考察し表現する能力を高めるとともに、数学的活動の楽しさや数学のよさを実感し、それらを活用して考えたり判断したりしようとする態度を養う。
	具体目標 (到達目標)	<p>(1) 数の平方根について理解し、数の概念についての理解を深める。また、目的に応じて計算したり、式を変形したりする能力を伸ばすとともに、2次方程式について理解し、用いる能力を培う。</p> <p>(2) 図形の相似、円周角と中心角の関係や三平方の定理について、観察、操作や実験などの活動を通して理解し、それらを図形の性質の考察や計量に用いる能力を伸ばすとともに、図形について見通しをもって論理的に考察し表現する能力を伸ばす。</p> <p>(3) 具体的な事象を調べることを通して、関数$y = ax^2$について理解するとともに、関数関係を見出し、表現し考察する能力を伸ばす。</p> <p>(4) 母集団から標本を取り出し、その傾向を調べることで、母集団の傾向を読み取る能力を培う。</p>

○評価について

評 価	観 点	数学的な知識及び技能	数の平方根、多項式と2次方程式、図形の相似、円周角と中心角の関係、三平方の定理、関数 $y = ax^2$ 、標本調査などについての基礎的な概念や原理、法則などを理解している。 事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けている。
		数学的な思考力、判断力、表現力	数の範囲に着目し、数の性質や計算について考察したり、文字を用いて数量の関係や法則などを考察したりする力、図形の構成要素の関係に着目し、図形の性質や計量について論理的に考察し表現する力、関数関係に着目し、その特徴を表、式、グラフを相互に関連付けて考察する力、標本と母集団の関係に着目し、母集団の傾向を推定し判断したり、調査の方法や結果を批判的に考察したりする力を身に付けている。
		主体的に学習に取り組む態度	数学的活動の楽しさや数学のよさを実感して粘り強く考え、数学を生活や学習に生かそうとしたり、問題解決の過程を振り返って評価・改善しようとしたり、多様な考えを認め、よりよく問題解決しようとしたりしている。
	評価の方法		○定期試験 ○小テスト ○まとめ・振り返りシート ○活動観察

○学習について

学 習 方 法	使用教材	教科書(学校図書)、授業プリント、まとめ・振り返りシート、タブレット
	学習形態	小グループを使った授業を中心に学習を行う。
	学習の てびき	<p>学校</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業のめあてを把握し、めあての答えとなる説明を行う(まとめ)。 ・授業で気づいたことやわかったことを具体的に説明する(ふりかえり)。 ・小グループではわかった生徒が率先して、わからない生徒に教える。 ・小グループではわからない生徒がわかる生徒に聞いたり、解答を見たりして学ぶ。 <p>家庭</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業で習った単元を中心にワークを利用して、類似の学習を進めていく。 ・毎回の小テストが回を重ねるごとに正答率をあげる予習・復習を行う。

○学習内容

月	時数	単元名・項目	学習のポイント
4	22	1章 式の計算 1節 多項式の計算 ①式の乗法・除法 ②式の展開 ③乗法公式	・オリエンテーション(授業の受け方・家庭学習の仕方) ・(単項式)×(多項式)、(多項式)÷(単項式)を計算する。 ・多項式を展開する。 ・乗法公式を用いて式を展開する。
5		2節 因数分解 ①因数分解 ②公式による因数分解	・多項式の因数、因数分解の意味を理解する。 ・公式を用いて多項式の因数分解を行う。
6		3節 式の利用 ①式の利用 1章のまとめの問題	・式の展開や因数分解を計算に利用して、簡単に計算する。式の計算を利用して、数の性質を証明する。
6	19	2章 平方根 1節 平方根 ①平方根 ②平方根の大小 ③無理数	・平方根の必要性に気づき、その意味を理解する。 ・平方根の大小を比べ、不等号を使って表す。 ・有理数と無理数の意味及び数の範囲の広がりについて理解する。
7		2節 根号をふくむ式の計算 ①根号をふくむ式の乗法・除法 ②根号をふくむ式の加法・減法 ③平方根の利用 2章のまとめの問題	・根号を含む数の乗除に関する規則を理解し、乗除の計算をする。 ・根号を含む数の加減の計算の規則を理解し、加減の計算をする。 ・乗法公式を用いて根号を含む式の計算をする。式に根号を含む値を代入して式の値を求める。 ・身のまわりで、平方根が利用されている場面について考える。
7	20	3章 2次方程式 1節 2次方程式の解き方 ①2次方程式とその解 ②因数分解を使った解き方 ③平方根の考えを使った解き方 ④2次方程式の解の公式	・2次方程式とその解の意味を理解する。 ・2次方程式を因数分解の考え方を用いて解く。 ・2次方程式を平方根の考え方を用いて解く。
8		2節 2次方程式の利用 ①2次方程式の利用 3章のまとめの問題	・2次方程式の解の公式を導き、それを用いて2次方程式を解く。 ・2次方程式をどの方法で解けばよいかを考える。 ・2次方程式を利用して、いろいろな問題を解決する。
9	15	4章 関数 $y=ax^2$ 1節 関数 $y=ax^2$ ①2乗に比例する関数 ②関数 $y=ax^2$ のグラフ ③関数 $y=ax^2$ の値の変化 ④関数 $y=ax^2$ の利用	・具体的な事象の変化や対応を調べることを通じて、 $y=ax^2$ について理解する。 ・関数 $y=ax^2$ のグラフのかき方とその特徴を理解する。
10		2節 いろいろな関数 ①身のまわりの関数 4章のまとめの問題	・具体的な事象と関連付けるなどし、表、式、グラフを相互に関連付けて関数 $y=ax^2$ の変化の割合について調べ、その特徴を見だし表現する。 ・日常の事象の中から関数 $y=ax^2$ を見だし、課題の解決に利用する。 ・いろいろな事象の中に、関数関係があることを理解する。
11	23	5章 相似な図形 1節 相似な図形 ①相似な図形 ②相似な図形の性質 ③三角形の相似条件 ④相似の利用	・相似な図形の性質や相似比について理解する。 ・三角形の相似条件を理解し、それを用いて図形の性質を証明する。
12		2節 平行線と相似 ①平行線と線分の比②線分の比と平行線 3節 相似と計量 ①相似な図形の面積比 ②相似な立体の表面積比と体積比 5章のまとめの問題	・相似な図形の性質を具体的な場面で活用する。 ・近似値や誤差、有効数字の意味について理解する。 ・平行線と線分の比の関係を利用して、線分の長さを求めたり、線分を等分したりする。 ・中点連結定理と、それを用いて図形の性質を証明する。 ・平面図形の周や面積を、相似比を利用して求める。 ・立体の表面積や体積を、相似比を利用して求める。
12	13	6章 円 1節 円周角と中心角 ①円周角の定理 ②円周角の定理の逆	・円周角と中心角の関係を見いだすことができる。 ・円周角の定理の逆が成り立つことを見いだす。
1		2節 円周角の定理の利用 ①円周角と図形の証明 ②円周角と円の接線 6章のまとめの問題	・図形の性質を証明するために、円周角の定理などを活用する。 ・円周角と中心角の関係を利用して、円外の1点から円に接線を引く作図を考察し表現する。
1	17	7章 三平方の定理 1節 三平方の定理 ①三平方の定理 ②三平方の定理の逆	・三平方の定理を証明し、それを利用して辺の長さを求める。 ・三平方の定理を利用して、三角形が直角三角形であるかどうかを判断する。
2		2節 三平方の定理の利用 ①平面図形での利用 ②空間図形での利用 7章のまとめの問題	・三平方の定理を用いて、平面図形や空間図形の計量をする。 ・対象を直角三角形とみなして、三平方の定理を活用する。
2	6	8章 標本調査 1節 標本調査 ①全数調査と標本調査 ②標本調査による推定 標本調査の利用	・全数調査と比較して、標本調査の必要性和意味を理解する。 ・標本調査における無作為抽出の必要性を理解する。 ・標本調査の簡単な例から、母集団の傾向を推定し判断する。
3		8章のまとめの問題 演習問題	・3年間の総合問題を解いて理解を深める。
計	140		

教科	理科	学年	3 学年	標準授業時数	140時間(週4時間)
----	----	----	------	--------	-------------

○教科について

目 標	教科目標	<p>自然の事物・現象に関わり、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察、実験を行うことなどを通して、自然の事物・現象を科学的に探求するために必要な資質・能力を次のとおり育成すること。</p> <p>(1) 自然の事物・現象についての理解を深め、科学的に探求するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2) 観察、実験などを行い、科学的に探求する力を養う。</p> <p>(3) 自然の事物・現象に進んで関わり、科学的に探求しようとする態度を養う。</p>
	具体目標 (到達目標)	<ul style="list-style-type: none"> ・学習する内容に興味、関心をもって取り組む。 ・毎回の授業のポイントについて理解する。 ・観察、実験の用具の正しい使い方や、記録・分析ができる。 ・観察、実験の結果から、法則性を見つけ、原理を理解し、それを使って色々なことに応用することができる。 ・学習した内容についての語句、考え方を覚える。

○評価について

評 価	観 点	知識及び技能	<p>自然の事物・現象を日常生活や社会と関連づけながら、自然の事物・現象についての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探求するために、科学的に探求するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身につけているか。</p>
	点	思考力、判断力、表現力	<p>自然の事物現象について問題を見だし見通しをもって観察実験などを行い、自然の事物・現象における規則性を見いだして表現しているなど、科学的に探求しているか。</p>
		主体的に学習に取り組む態度	<p>自然の事物・現象について進んで関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探求しようとしているか。</p>
	評価の方法	<p>○定期試験 ○課題テスト ○プリント・レポート(実験・観察レポート、課題レポート等) ○振り返りシート など</p>	

○学習について

学 習 方 法	使用教材	<p>教科書(啓林館) よくわかる理科の学習3(明治図書)(ワーク) 3年間の総まとめ問題集(新学社)</p>
	学習形態	<p>・教室や理科室での一斉授業やグループ学習(実験を含む)を取り入れた形式で行う。</p>
	学習のてびき	<p>学校</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 授業道具を忘れない(教科書・ワーク・ファイル) ② 板書事項を整理して書き取る。大切だと思われることはメモしておく。 ③ 観察や実験の時は内容や手順をよく理解し、協力しあっておこなう。 ④ 発問に対して積極的に挙手して発表するよう努力する。 ⑤ 授業の中でわからなかった点は必ずその時間に理解するようにしておく。それでも理解できない場合は先生に聞いてわからないままにしておかない。 ⑥ 仲間との話し合いを通して、自分の考えを深める。 <p>家庭</p> <ol style="list-style-type: none"> ① その日に学んだことを復習する。 ② 次に学習する教科書の本文を読んでくる。その中で疑問点をもって授業にのぞくようにする。 ③ レポートや提出物は期限を守って提出できるようにしておく。

○学習内容

月	時数	単元名・項目など	学習のポイント
4	23	【単元】生命の連続性(23h) 1章 生物のふえ方と成長 2章 遺伝の規則性と遺伝子 3章 生物の種類の多様性と進化 力だめし	・オリエンテーション (授業の受け方、家庭学習の仕方)の理解 ・生物の成長の理解 ・生物の増え方の理解 ・親から子への特徴の伝わり方の規則性の理解 ・遺伝子の本体の理解 ・生物の進化の流れを理解し、説明できる。
5			
6	29	【単元】化学変化とイオン(29h) 1章 水溶液とイオン 2章 電池とイオン 3章 酸・アルカリと塩 力だめし	・水溶液にすると電流を通す物質の理解 ・電解質の水溶液に電流を通したときの変化を説明できる。 ・水溶液中での電解質の粒子の理解 ・電池のしくみを説明できる。 ・日常生活と電池 ・酸性やアルカリ性の水溶液の性質 ・酸性やアルカリ性の正体や強さの理解 ・酸とアルカリを混ぜたときの変化を説明できる。 ・イオンで中和を説明できる。
7			
8	36	【単元】運動とエネルギー(36h) 1章 力の合成と分解 2章 物体の運動 3章 仕事とエネルギー 4章 多様なエネルギーとその移り 変わり 5章 エネルギー資源とその利用 力だめし	・力のつり合いの理解 ・力の合成や力の分解の理解・作図 ・物体の運動の表し方の理解や速さの計算の理解 ・運動の調べ方の理解 ・力と物体の運動の関係の理解 ・物体に力がはたらかないときの運動の理解 ・力のおよぼし合いの説明ができる。 ・仕事の能率の計算 ・エネルギーの種類と変換についての理解 ・エネルギー変換の効率と熱の伝わり方の理解 ・生活を支えるエネルギーやエネルギー利用上の課題の理解 ・エネルギーの有効利用の理解
9			
10			
11	22	【単元】宇宙を観る(22h) 1章 地球から宇宙へ 2章 太陽と恒星の動き 3章 月と金星の動きと見え方 力だめし	・太陽のまわりを回る天体やみずから光を出す天体の理解 ・天体の1日の動きの理解 ・太陽の1年の動きと星座の移り変わりの理解 ・太陽の動きと季節の変化の理解 ・月の動きと見え方の理解 ・金星の動きと見え方の理解
12			
1	30	【単元】自然と人間(30h) 1章 自然界のつり合い 2章 さまざまな物質の利用と人間 3章 科学技術の発展 4章 人間と環境 5章 持続可能な社会をめざして 力だめし	・食物をめぐる生物どうしのつながりの理解 ・生物の遺骸のゆくえの理解 ・生物の活動を通じた物質の循環の理解 ・生物の変遷と進化の理解 ・自然環境における人間や人間の生活による自然環境への影響の理解 ・自然からの恩恵と自然災害の理解 ・科学技術の発展と科学技術から受けている恩恵の理解 ・科学技術の発展で生じた課題と対策の理解
2			
3			
計	140		

【注意】内容が前後することもあります。

教科	音楽	学年	3 学年	標準授業時数	35 時間(週 1 時間)
----	----	----	------	--------	---------------

○教科について

目 標	教科目標	表現及び鑑賞の幅広い活動を通して、音楽的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の音や音楽、音楽文化と豊かに関わる資質・能力を育成することを目指す。
	具体目標 (到達目標)	<ul style="list-style-type: none"> (1) 曲想と音楽の構造や背景などとの関わり及び音楽の多様性 について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な歌唱、器楽、創作の技能を身に付けるようにする。 (2) 曲にふさわしい音楽表現を創意工夫することや、音楽を評価しながらよさや美しさを味わって聴くことができるようにする。 (3) 主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習に取り組み、音楽活動の楽しさを体験することを通して、音楽文化に親しむとともに、音楽によって生活を明るく豊かなものにし、音楽に親しんでいく態度を養う。

○評価について

評 価 点	観 点	知識及び技能	<ul style="list-style-type: none"> ・曲想と音楽の構造や背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解している。 ・創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付け、歌唱、器楽、創作で表している。
		思考力、判断力、表現力	音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように表すかについて思いや意図をもったり、音楽を自分なりに評価しながらよさや美しさを味わって聴いたりしている。
		主体的に学習に取り組む態度	音や音楽、音楽文化に親しむことができるよう、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。
	評価の方法	活動観察、定期試験、実技試験（歌唱、アルトリコーダー）、提出物	

○学習について

学 習 方 法	使用教材	中学生の音楽 2・3 の下（教育芸術社）、中学生の器楽（教育芸術社）、資料集（正進社）			
	学習形態	音楽室での一斉授業を基本とし、場面に応じてグループ学習を行う。			
	学習の てびき	<table border="1"> <tr> <td>学 校</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・授業の準備を確実にし、落ち着いて授業開始を待つ。 ・課題や目標を意識し、集中して授業に取り組む。 ・歌唱、アルトリコーダーの練習は、周りの音を聴きながら、丁寧に取り組む。 ・提出物は、指示された時に、授業時間内に提出する。 ・学習プリントは、必ずファイルに保管する。 ・楽器を適切に扱う。 </td> </tr> <tr> <td>家 庭</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・いろいろなジャンルの音楽に親しもう。 ・アルトリコーダーの練習に取り組もう。（実技試験の前、長期休業中など） </td> </tr> </table>	学 校	<ul style="list-style-type: none"> ・授業の準備を確実にし、落ち着いて授業開始を待つ。 ・課題や目標を意識し、集中して授業に取り組む。 ・歌唱、アルトリコーダーの練習は、周りの音を聴きながら、丁寧に取り組む。 ・提出物は、指示された時に、授業時間内に提出する。 ・学習プリントは、必ずファイルに保管する。 ・楽器を適切に扱う。 	家 庭
学 校	<ul style="list-style-type: none"> ・授業の準備を確実にし、落ち着いて授業開始を待つ。 ・課題や目標を意識し、集中して授業に取り組む。 ・歌唱、アルトリコーダーの練習は、周りの音を聴きながら、丁寧に取り組む。 ・提出物は、指示された時に、授業時間内に提出する。 ・学習プリントは、必ずファイルに保管する。 ・楽器を適切に扱う。 				
家 庭	<ul style="list-style-type: none"> ・いろいろなジャンルの音楽に親しもう。 ・アルトリコーダーの練習に取り組もう。（実技試験の前、長期休業中など） 				

○学習内容

月	授業 時数	学習内容	学習のねらい
4	3	○日本の歌のよさや美しさを理解して、歌唱表現を工夫しよう 「花」 My Voice! ○情景を思い浮かべながら表情豊かに歌おう。 「早春賦」	●曲想と音楽の構造や歌詞の内容及び曲の背景との関わりについて理解するとともに、それらを生かした曲にふさわしい歌唱表現を創意工夫して歌うことができる。
5	3	○音楽と文化や歴史のかかわりを知ろう。 ○作曲者の思いを感じ取りながら、音楽を味わおう。 ◎フルタバ（モルダウ） 社会を映し出す音楽 ◆リコーダー LESSON4	●曲想と音楽の構造との関わり、音楽の特徴とその背景となる歴史との関わりについて理解するとともに、曲や演奏に対する評価とその根拠、生活や社会における音楽の意味や役割について考え、音楽のよさや美しさを味わって聴くことができる。 ●曲想と音楽の構造や曲の背景との関わりについて理解するとともに、それらを生かした曲にふさわしい器楽表現を創意工夫して演奏することができる。
6	4	○ポピュラー音楽を聴いて、そのよさを味わおう。 ◎ポピュラー音楽 ポピュラー音楽のジャンル ルールを守って音楽を楽しもう！ 生活や社会の中の音楽	●音楽の特徴とその背景となる文化や歴史、他の芸術との関わりについて理解するとともに、音楽表現の共通性や固有性について考え、音楽のよさや美しさを味わって聴くことができる。
7	3	○曲の雰囲気を生かして英語の歌を歌おう。 「Let It Be」 ○曲想を生かして表情豊かに歌おう。 「帰れソレントへ」	●声の音色や響き及び言葉の特性と曲種に応じた発声との関わりについて理解するとともに、それらを生かした曲にふさわしい歌唱表現を創意工夫して歌うことができる。
9	4	○歌詞と旋律の関わりに注目して合唱しよう。 「きみとともに」 文化祭合唱曲 指揮をしてみよう！	●曲想と音楽の構造や歌詞の内容及び曲の背景との関わりについて理解するとともに、それらを生かした曲にふさわしい歌唱表現を創意工夫して歌うことができる。
10	4	○総合芸術に親しみ、その音楽を味わおう。 ◎「アイダ」から 他 ○楽器の音色に親しみながら、オーケストラの響きを味わおう。 ◎ボレロ	●曲想と音楽の構造との関わりについて理解するとともに、曲や演奏に対する評価とその根拠について考え、音楽のよさや美しさを味わって聴くことができる。
11	3	○ハ長調の音階を使ってまとまりのある旋律をつくろう。 My Melody	●音階の特徴及び音のつながり方の特徴について理解するとともに、それらを生かしたまとまりのある創作表現を創意工夫して音楽をつくることができる。
12	3	○日本に古くから伝わる尺八の音楽を味わおう。 ◎尺八楽「棠鶴鈴鼓」 ○音の特徴や重なりを感じてアンサンブルの表現を工夫しよう。 Let's Create! アルトリコーダー「星の世界」 ○声や音楽の特徴を生かして謡を謡おう。 謡「敦盛」から	●我が国の伝統音楽の特徴と、その特徴から生まれる音楽の多様性について理解するとともに、音楽表現の共通性や固有性について考え、音楽のよさや美しさを味わって聴くことができる。 ●音素材の特徴及び音の重なり方や反復、変化、対照などの構成上の特徴について理解するとともに、それらを生かしたまとまりのある創作表現を創意工夫して音楽をつくることができる。 ●声の音色や響き及び言葉の特性と曲種に応じた発声との関わりについて理解するとともに、それらを生かした曲にふさわしい歌唱表現を創意工夫して歌うことができる。
1	3	世界のさまざまな楽器の音楽を味わおう。 ◎世界の諸民族の音楽	●我が国や郷土の伝統音楽及び諸外国の様々な音楽の特徴と、その特徴から生まれる音楽の多様性について理解するとともに、生活や社会における音楽の意味や役割について考え、音楽のよさや美しさを味わって聴くことができる。
2	3	私たちが受け継ぐ郷土の祭りや芸能 歌い継ごう 日本の歌 心通う合唱	●曲想と音楽の構造や歌詞の内容及び曲の背景との関わりについて理解するとともに、それらを生かした曲にふさわしい歌唱表現を創意工夫して歌うことができる。
3	2	卒業式 合唱曲 国歌「君が代」	●曲想と音楽の構造や歌詞の内容及び曲の背景との関わりについて理解するとともに、それらを生かした曲にふさわしい歌唱表現を創意工夫して歌うことができる。

教科	美術	学年	3年	標準授業時数	35時間(週1時間)
----	----	----	----	--------	------------

○教科について

目 標	教科目標	表現及び鑑賞の幅広い活動を通して、造形的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の美術や美術文化と豊かに関わる資質・能力を育成することを目指す。
	具体目標 (到達目標)	(1) 対象や事象を捉える造形的な視点について理解するとともに、意図に応じて自分の表現方法を追求し、創造的に表すことができるようになる。 (2) 自然の造形や美術作品などの造形的なよさや美しさ、表現の意図と創造的な工夫、機能性と洗練された美しさとの調和、美術の働きなどについて独創的・総合的に考え、主題を生み出し豊かに発想し構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができるようになる。 (3) 主体的に美術の活動に取り組み創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情を深め、心豊かな生活を創造していく態度を養う。

○評価について

評 価	観 点	知識及び技能	<ul style="list-style-type: none"> 対象や事象を捉える造形的な視点について理解している。 意図に応じて自分の表現方法を追求し、創造的に表している。
		思考力、判断力、表現力	自然の造形や美術作品などの造形的なよさや美しさ、表現の意図と創造的な工夫、機能性と洗練された美しさとの調和、美術の働きなどについて独創的・総合的に考えるとともに、主題を生み出し豊かに発想し構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりしている。
		主体的に学習に取り組む態度	美術の創造活動の喜びを味わい主体的に表現及び鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。
	評価の方法	<ul style="list-style-type: none"> ○定期試験 ○作品、提出物 ○活動観察 	

○学習について

学 習 方 法	使用教材	教科書(光村図書) 美術資料(秀学社)	
	学習形態	一斉授業、少人数グループなど、活動のねらいに応じた形態をとる	
	学習の てびき	学 校	<ul style="list-style-type: none"> 授業の準備を確実にを行う。 仲間も共に学習していることの意識を高く持つ。 授業の流れを把握し、準備や後かたづけまで責任をもち、協力して行う。 課題や目標を意識し、授業に時間いっぱい精一杯取り組む。 安全に行えるように気をつける。 提出物は期限を意識し、確実に提出する。
		家 庭	<ul style="list-style-type: none"> 授業や課題に必要な物を準備する。 美術館などで開催される展示などに関心をもち、本物の作品に触れる機会を見いだす。 身の回りの"美術"に関心をもつ。

○学習内容

月	時数	単元名・項目	学習のポイント
4	3	・オリエンテーション ・(鑑)北斎からゴッホへ ・印象派 ・ジャポニスム ・浮世絵	・美術での活動や学習に見通しを立てる。 ・日本や西洋の美術作品について、それぞれのよさや美しさを感じ取る。 ・日本の美術が西洋の美術に与えた影響について考え、美術文化への見方や感じ方を深める。 ・感じたことや考えたことを話し合い、他者の考えに関心を持ち、作品の見方を広げる。
5 ～ 9	11	・様々な自画像の鑑賞 ・自画像制作	・さまざまな自画像に関心を持ち、作者の表現の意図や工夫を感じ取る。 ・感じたことや考えたことを話し合い、他者の考えに関心を持ち、作品の見方を広げる。 ・自画像など自分をあらわした作品に関心を持ち、今の自分や将来の自分を深く見詰め感じ取ったことや考えたことをもとに主題を生み出す。 ・主題をもとに、形や色、構図などの構想を練る。 ・形や色、構図などを工夫して制作する。 ・完成作品を鑑賞し合い、意図や工夫を感じ取り、話し合う。 ・人体の造形的な表現形式などを理解する。
7	1	・メッセージを伝える (夏休みの課題・ポスター)	・メッセージを広く伝えるデザインに関心を持ち、メッセージを伝える目的や伝える相手、内容や社会との関わりなどから主題を生み出す。 ・主題をもとに、作品形態や構成、配色やコピーなどの構想を練る。 ・形や色、構成などを工夫して制作する。
9	1	・(鑑)文化祭展示鑑賞	・作者の創造的な表現の工夫を感じ取り、美意識を高め、幅広く味わう。
10 ～ 12	8	・水墨画	・墨の多様な表現を体験することにより、日本の伝統的な水墨画に触れ、自分なりに表現を工夫し、表現する。 ・相互鑑賞を行い、感じたことや考えたことを話し合い、他者の考えや表現に関心を持ち、作品の見方を広げる。
1 ～ 3	11	・粘土による造形活動	・現実に存在する自然物に興味・関心を持ち、その自然物の造形等から主題を生み出す。 ・主題をもとに、形や色等考えながら構想を練る。 ・完成作品を鑑賞し合い、意図や工夫を感じ取り、話し合う。
計	35		

【注意】内容が前後することもあります。

教科	保健体育(男子)	学年	3年	標準授業時間数	105時間(週3時間)
----	----------	----	----	---------	-------------

目 標	教科目標	心と体を一体としてとらえ、運動や健康・安全についての理解と運動の合理的な実践を通して、生涯にわたって運動に親しむ資質や能力を育てるとともに健康の保持増進のための実践力の育成と体力の向上を図り、明るく豊かな生活を営む態度を育てる。
	具体目標 (到達目標)	運動の合理的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを味わうことができるようにするとともに、知識や技能を身に付け、運動を豊かに実践することができるようにする。 運動を適切に行うことによって、体力を高め、心身の調和的発達を図る。 運動における競争や協同の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の役割を果たすなどの意欲を育てるとともに、健康・安全に留意し、自己の最善を尽くして運動をする態度を育てる。 個人生活における健康・安全に関する理解を通して、生涯を通じて自らの健康を適切に管理し、改善していく資質や能力を育てる。

評 価 点	観	運動についての知識及び技能	運動の合理的な実践を通して、運動、体力の必要性について理解するとともに基本的な技能を身につけている。また、個人生活における健康・安全について理解するとともに基本的な知識を身につけている。
	点	運動についての思考・判断・表現	運動についての自己の課題を発見し、合理的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える。また、健康についての課題を発見し、より良い解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える。
		主体的に学習に向かう態度	運動における経験を通して公正に取り組む、互いに協力する、自己の役割を果たす、一人ひとりの違いを認めようとするなどの意識を育てるとともに、健康・安全に留意し、自己の最善を尽くして運動をする態度を養う。また、生涯を通じて心身の健康の保持増進を目指し、明るく豊かな生活を営む態度を養う。
評価の方法		活動観察(活動の様子)・授業記録の分析(学習プリント・自己評価カード)実技テスト・定期テスト	

学 習 方 法	使用教材	教科書(大修館書店) 保健体育学習ノート(大修館書店) 実技資料(大修館書店)	
	学習形態	グラウンド・体育館・格技場・プール・多目的ホールや教室での一斉授業やグループ学習を取り入れた形式で行う。	
	学習の手引き	学校	<ul style="list-style-type: none"> ○各先生の指示をよく聞いて、自分の課題や目標を考え、教え合いをしながら、みんなと協力して学習に取り組みましょう。競争や協同の経験を通して、公正な態度や、進んで規則を守り互いに協力して責任を果たすなどの態度を身につけていきましょう。 ○健康・安全に留意して、進んで学習に取り組みましょう。 ○心身の健康や安全に関心を持ち、進んで学習に取り組みましょう。 ○先生の説明をよく聞き、健康・安全の意義を理解し、知識を身につけていきましょう。
	家庭	<ul style="list-style-type: none"> ○教科書やプリントなどを中心に、基本的な技能やルールなどについて積極的に予習・復習をしましょう。 ○保健では教科書を読んでおくなどの予習をしておきましょう。 ○保健体育ノートなどで復習をしましょう。 ○プリントやレポートなどに積極的に取り組み、提出しましょう。 ○長期の休みなどには進んで体力づくりに取り組みましょう。 	

学習内容

月	時数	単元名・項目	学習内容
4	8	・体づくり運動 集団行動 体ほぐしの運動 体力を高める運動・ラジオ体操 体の柔らかさや巧みな動きを高めるため運動	・オリエンテーション(授業の受け方、家庭学習の仕方) ・「体ほぐしの運動」いろいろな運動を友達と楽しく行い、心や体の状態に気づいたり、調子を整える。 ・「体力を高める運動」健康に生活するための体力を高める。
5	5	力強い動きを高めるための運動 動きを持続する能力を高めるための運動 ・新体カテスト	・ラジオ体操やストレッチングなどの効果について知る。 ・体育大会の練習を通して集団で行動することの意味を理解し、行動する力を身につける。 ・新体カテストを行い、自己の体力の現状と課題について知り、今後の運動実践に活かしていく。
	3	・体育理論	・文化としてのスポーツについて学ぶ。
6	9	・球技(バスケットボール)	・基本的な技能(パス、ドリブル、シュート)を身につけ、ボール操作と空間を作り出す動きによって攻防を展開しゲームを行う。基本的なルールについて知る。
7	10 6	・水泳 ・球技(バスケットボール)	・各種目の技能を高め、続けて長く泳いだり、速く泳いだりすることができるように練習する。 ・水泳の安全・事故防止に関する心得を学習する。 ・基本的な技能(パス、ドリブル、シュート)を身につけ、ボール操作と空間を作り出す動きによって攻防を展開しゲームを行う。基本的なルールについて知る。
8	8	保健分野 感染症と病原体(1)感染症と体の抵抗力(1)感染症の予防(1)性感染症とその予防(1)エイズとその予防(1)保健機関とその利用(1)医療機関とその利用(1)医薬品の正しい使い方(1)	感染症の予防と健康を守る社会の取り組み ※保健分野については、週に1時間程度のペースで学習します。
9	10	・球技(卓球)	・基本的な技能(サーブ、レシーブ、スマッシュ)を上達させボール操作で攻防を展開しゲームを行う。ルールについて知る。
10	8	保健分野 環境の変化への体の適応(1)気象情報の適切な利用(1)快適で能率の良い環境(1)室内の空気の汚染と換気(1)衛生的な飲料水の供給(1)し尿とごみの処理(1)災害と環境(1)私たちの生活と環境問題(1)	環境の健康への影響 ※保健分野については、週に1時間程度のペースで学習します。
11	10	・球技(ソフトボール)	・キャッチボール、バッティングなどの技能を習得し、安定したバット操作と走塁での攻撃、連携した守備などによって攻防を展開し、ゲームを楽しむ。 ・自己に適したペースを維持して、一定の時間や距離を走る。
12	10	・陸上競技(長距離走)	・基本的な技能(パス、サーブ、スパイク)を身につけ、役割に応じたボール操作によって空いた場所をめぐる攻防の展開及び基本的なルールについて知る。
1	10	・球技(バレーボール)	・基本的な技能(パス、ドリブル、シュート)を身につけ、ボール操作と空間を作り出す動きによって攻防を展開しゲームを行う。基本的なルールについて知る。
2	8	・球技(サッカー)	・基本的な技能(パス、ドリブル、シュート)を身につけ、ボール操作と空間を作り出す動きによって攻防を展開しゲームを行う。基本的なルールについて知る。
計	105		

※内容が前後する場合があります

教科	保健体育(女子)	学年	3年	標準授業時間数	105時間(週 3 時間)
----	----------	----	----	---------	---------------

目 標	教科目標	心と体を一体としてとらえ、運動や健康・安全についての理解と運動の合理的な実践を通して、生涯にわたって運動に親しむ資質や能力を育てるとともに健康の保持増進のための実践力の育成と体力の向上を図り、明るく豊かな生活を営む態度を育てる。
	具体目標 (到達目標)	運動の特性や個人の生活における健康・安全に関心を持ち、仲間と協力しながら、意欲的に学習に取り組むことができる。 運動の技能習得や個人生活における健康・安全について、自己の課題を見だし、課題の解決を目指して考え、判断し、それらを表現することができる。 運動の特性に応じた基本的な技能を身に付けることができる。 運動の歴史や特性、運動の合理的な実践に関する具体的な事項、個人生活における健康、安全について、課題の解決に役立つ基礎的な事項を理解している。

評 価 点	観	運動についての知識及び技能	運動の合理的な実践を通して、運動、体力の必要性について理解するとともに基本的な技能を身につけている。また、個人生活における健康・安全について理解するとともに基本的な知識を身につけている。
	点	運動についての思考・判断・表現	運動についての自己の課題を発見し、合理的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える。また、健康についての課題を発見し、より良い解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える。
	点	主体的に学習に向かう態度	運動における経験を通して公正に取り組む、互いに協力する、自己の役割を果たす、一人ひとりの違いを認めようとするなどの意識を育てるとともに、健康・安全に留意し、自己の最善を尽くして運動をする態度を養う。また、生涯を通じて心身の健康の保持増進を目指し、明るく豊かな生活を営む態度を養う。
評価の方法		活動観察(活動の様子)・授業記録の分析(学習プリント・自己評価カード)実技テスト・定期テスト	

学 習 方 法	使用教材	教科書(大修館書店) 保健体育学習ノート(大修館書店) 実技資料(大修館書店)	
	学習形態	グラウンド・体育館・格技場・プール・多目的ホールや教室での一斉授業やグループ学習を取り入れた形式で行う。	
	学習の手引き	学校	<ul style="list-style-type: none"> ○各先生の指示をよく聞き、自分の課題や目標を考え、進んで学習に取り組みましょう。 ○健康・安全に留意して、進んで学習に取り組みましょう。 ○教え合いをしながら、みんなと協力して学習に取り組みましょう。 ○競争や共同の経験を通して、公正な態度や、進んで規則を守り互いに協力して責任を果たすなどの態度を身につけていきましょう。 ○心身の健康や安全に関心を持ち、進んで学習に取り組みましょう。 ○先生の説明をよく聞き、健康・安全の意義を理解し、知識を身につけていきましょう。
		家庭	<ul style="list-style-type: none"> ○教科書やプリントなどを中心に、基本的な技能やルールなどについて積極的に予習・復習をしましょう。 ○保健では教科書や保健体育ノートを読んで、予習・復習をしておきましょう。 ○プリントやレポートなどに積極的に取り組み、提出しましょう。 ○体力作りは積み重ねが大切です。長期の休みや普段の生活の中で、進んで体力作りに取り組みましょう。

学習内容

月	時数	単元名・項目	学習内容
4	7	・体づくり運動 集団行動 体ほぐしの運動 体力を高める運動・ラジオ体操 体の柔らかさや巧みな動きを高めるため運動	・オリエンテーション(授業の受け方、家庭学習の仕方) ・「体ほぐしの運動」いろいろな運動を友達と楽しく行い、心や体の状態に気づき、調子を整える。 ・「体力を高める運動」健康に生活するための体力を高める。
5	5	力強い動きを高めるための運動 動きを持続する能力を高めるための運動 ・新体力テスト	・ラジオ体操やストレッチなどの効果について知る。 ・体育大会の練習を通して集団で行動することの意味を理解し、行動する力を身につける。 ・新体力テストを行い、自己の体力の現状と課題について知り、今後の運動実践に活かしていく。
	3	体育理論	・文化としてのスポーツについて学ぶ。
6	15	・球技(ソフトボール)	・基本的な技能(スローイング、キャッチング、バッティング)を上達させ、ボールやバットの操作と仲間と連携した動きでゲームを行う。
7	10	・器械運動(マット)	・マットを使って、今自分にできる技を確認し、その技がよりよくできるように練習する。また、新しい技に挑戦し、その技能を高める。
8	8	・ダンス	・リズムダンスの踊りを通して、音楽に合わせて特徴的なステップや動きで踊る。
9	10	・球技(卓球)	・基本的な技能(サーブ・レシーブ・スマッシュ)を上達させ、ボール操作で攻防を展開しゲームを行う。ルールについて知る。
	8	・保健分野 感染症と病原体(1) 感染症と体の抵抗力(1) 感染症の予防(1) 性感染症とその予防(1) エイズとその予防(1) 保健機関とその利用(1) 医療機関とその利用(1) 医薬品の正しい使い方(1)	感染症の予防と健康を守る社会の取り組み ※保健分野については、週に1時間程度のペースで学習します。
10	12	・球技(バレーボール)	・基本的な技能(サーブ、レシーブ、パス、スパイク)を上達させ、ボール操作と仲間と連携した動きによって攻防を展開しゲームを行う。ルールについて知る。
11			
12	8	・保健分野 環境の変化への体の適切(1) 気象情報の適切な利用(1) 快適で能率の良い環境(1) 室内の空気の汚染と換気(1) 衛生的な飲料水の供給(1) し尿とごみの処理(1) 災害と環境(1) 私たちの生活と環境問題(1)	環境の健康への影響・ ※保健分野については、週に1時間程度のペースで学習します。
1	10	・陸上競技(長距離走)	・自己に適したペースを維持して、一定の時間や距離を走る。
2	9	・球技(バドミントン)	・基本的な技能(サービス、ステップ、インパクト)を上達させ、用具の操作と仲間と連携した動きによって攻防を展開しゲームを行う。ルールについて知る。
計	105		

※内容が前後する場合があります

教科	技術	学年	3年	標準授業時数	18時間(週0.5時間)
----	----	----	----	--------	--------------

○教科について

目 標	教科目標	<p>技術の見方・考え方を働かせ、ものづくりなどの技術に関する実践的・体験的な活動を通して、技術によってよりよい生活や持続可能な社会を構築する資質・能力を次の通り育成することを目指す。</p> <p>(1) 生活や社会で利用されている材料、加工、生物育成、エネルギー変換及び情報の技術についての基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付け、技術と生活や社会、環境との関わりについての理解を深める。</p> <p>(2) 生活や社会の中から技術に関わる問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、製作図等に表現し、試作等を通じて具体化し、実践を評価・改善するなど、課題を解決する力を養う。</p> <p>(3) よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、適切かつ誠実に技術を工夫し創造しようとする実践的な態度を養う。</p>
	具体目標 (到達目標)	<p>○ 材料、加工、生物育成、エネルギー変換及び情報の技術に関する科学的な原理・法則、技術の基礎的なしくみを理解し、それらに関わる技能を身に付ける。</p> <p>○ 生活や社会における問題を見だし、社会からの要求、安全性、環境負荷や経済性などの多面的・多角的な視点から、長所・短所の折り合いをつけるという技術的な見方・考え方ができる。</p> <p>○ 技術の見方・考え方を働かせ、生活や社会における技術に関わる問題を解決することができる。</p> <p>○ よりよい生活や持続可能な社会の実現に向けて、技術を評価し、適切に選択、管理・運用したり、新たな発想に基づいて改良、応用したりする力と、社会の発展に向けて技術を工夫し創造しようとする態度を身に付ける。</p>

○評価について

評 価	観 点	知識及び技能	<p>✓ 生活や社会で利用されている材料、加工、生物育成、エネルギー変換及び情報の技術についての基礎的な理解と、それらに係る技能を身に付けているか。</p> <p>✓ 技術と生活や社会、環境との関わりについて理解しているか。</p>
		思考力、判断力、表現力	<p>✓ 生活や社会の中から技術に関わる問題を見いだして課題を設定、解決策を構想できるか。</p> <p>✓ 解決策を製作図等に表現し、試作等で具体化できるか。</p> <p>✓ 実践を評価・改善し、課題を解決できるか。</p>
		主体的に学習に取り組む態度	<p>✓ よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、適切かつ誠実に技術を工夫し創造しようとする実践的な態度が身についているか。</p>
	評価の方法		○定期試験 ○提出物 ○活動観察 ○振り返り ○作品等

○学習について

学 習 方 法	使用教材	<p>・教科書(開隆堂) …3年間使用</p> <p>・授業で配布するプリント</p>
	学習形態	教室や実習室(木工室や金工室、コンピュータ教室)での一斉授業やグループ活動(実技を含む)を取り入れた形式で行う。
	学習の てびき	<p>学校</p> <p>① 授業道具(教科書、学習ノート、プリントなど)を忘れない。 ② 板書や必要事項を整理してノートを取り、その他大切だと思うことをメモする。 ③ 作業内容や手順について理解する。分からないところがあれば積極的に質問する。</p> <p>家庭</p> <p>① 授業で学習したことを復習する。 ② 疑問点をもって授業に臨む。 ③ 提出物の期限は必ず守る。</p>

○学習内容…【内容D 情報の技術】【Cエネルギー変換の技術】

月	時数	単元名・項目	学習のポイント
4 5 6 7	5	Cエネルギー変換の技術 ・生活や社会を支えるエネルギー ・動力伝達の仕組み ・電気機器の事故防止（漏電） ・電気機器の定格（許容電流）	○生活を豊かにするために、技術をどう改善すべきか考える。 ○電気が地面に流れることを元に感電しない方法を考え出す ○電流が流れると発熱するので、火災を予防するための装置について考える
9	5	Cエネルギー変換の技術 センサー付きライト ・はんだ付け ・導通試験、絶縁試験 ・プログラミング	○電子部品をはんだ付けする ○プログラミングを行い、センサーの調整、ライトの調整を行う。
10 11 12	3	Cエネルギー変換の技術 ・リンク機構について知る	○リンク機構が使われている製品（パワーショベルや介護ロボットなど）が、人間の生活を便利にし、労働を軽減しているかを考える。
1 2	3	D情報の技術 双方向性のあるコンテンツによる問題 ・プログラミング	○キャラクターを移動させたり、計算させたり、文字を表示させるプログラムをスクラッチで作成する ○情報の受送信を行う
3	1	D-2-2 計測・制御による問題解決 ・自動走行車をプログラムで制御する	○センサーの感度やプログラムを操作し、自動走行車を制御する
計	17		

【注意】内容、時数が変更する場合があります。

教科	家庭	学年	3年	標準授業時数	18時間(週0.5時間)
----	----	----	----	--------	--------------

○教科について

目 標	教科目標	生活の営みに係る見方・考え方を働かせ、衣食住などに関する実践的・体験的な活動を通して、よりよい生活の実現に向けて、生活を工夫し創造する資質・能力を育成することを目指す。
	具体目標 (到達目標)	<p>○金銭の管理と購入、消費者の権利と責任について理解する。</p> <p>○環境に配慮した消費生活(持続可能な社会)を送るために自分たちができることを考える。</p> <p>○幼児発達と生活、幼児の遊びの意義について基礎的な理解ができる。</p> <p>○幼児や高齢者との関わり方について理解し、よりよい生活実現に向けて生活を工夫しようとする。</p>

○評価について

評 価	観 点	知識及び技能	家族・家庭の基本的な機能について理解を深め、生活の自立に必要な家族・家庭、衣食住、消費や環境などについて理解しているとともに、それらに係わる技能を身に付けている。
		思考力、判断力、表現力	これからの生活を展望し、家族・家庭や地域における生活の中から問題を見だして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。
		主体的に学習に取り組む態度	家族や地域の人々と協働し、よりよい生活の実現に向けて、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、実践しようとしている。
	評価の方法	<p>○定期試験 ○活動観察 ○製作物</p> <p>○提出物(学習ノート、授業プリント、レポート等)</p>	

○学習について

学 習 方 法	使用教材	教科書 学習ノート 授業プリント	
	学習形態	1クラスの半分の人数で、教室での一斉授業や、グループ学習(課題に対する意見交流、実習等)を取り入れた形式で行います。	
	学習の てびき	学 校	授業では①興味を持って授業に参加しましょう。 ②積極的に発言・質問をしましょう。 ③積極的に実験、実習に取り組みましょう。 ④プリントのまとめをきちんとしましょう。
		家 庭	<p>◎家庭の仕事を行うことが、家庭科の一番の実践学習になります。意欲的に家庭の仕事を行いましょう。</p> <p>◎新聞・ニュース・衣生活、住生活に関する番組なども活用し、最新の情報を得て自分の生活に生かしていくようにしましょう。</p>

○学習内容

月	時数	単元名・項目など	学習のポイント
4	2	【家庭生活と消費】 ① 消費生活のしくみ ② 家庭生活における収入と支出	・消費生活のしくみについて話し合う ・家庭における収入支出のバランス
5	2	【購入・支払いと生活情報】 ① いろいろな購入方法	・店舗販売と無店舗販売
6	2	② 購入前に知っておくこと ③ いろいろな支払方法 ④ 情報を活用した上手な購入	・販売方法や支払い方法について知る。 ・商品の選択、購入、活用する方法について考える。
7	2	【持続可能な社会】 ① 消費行動が社会に与える影響 ② 消費行動が環境に与える影響	・よりよい消費生活について考える。 ・環境に配慮した生活について考える。
8	1	【幼児の生活と家族】 ① 幼児の頃と今の自分	・自分自身の幼いころを振り返る。
9	2	【消費者被害と消費者の自立】 ① 消費者被害 ② 消費者の権利と責任	・消費者トラブルを解決する方法を考える。 ・消費者の権利と責任について考える。
10	2	【幼児の生活と家族】 ② 幼児の体の発達 ③ 幼児の心の発達	・幼児の体の発達の特徴について考える。 ・幼児の心の発達の特徴について考える。
11	2	④ 発達にとってのおとなの役割 ⑤ 遊びが必要なわけ	・幼児にとっての遊びの意義について考える。
12	1	⑥ 遊びを支える環境	・幼児の生活やいろいろな遊びを観察し、遊びで育つ力について考える。
1	1	【幼児との関わり】 ⑦ 保育実習（予定）	・幼児との関わりを通して、幼児への理解を深める。
2	1	【家庭生活と地域とのかかわり】	・介護など高齢者との関わり方について理解する。
3			
計	18		

【注意】 内容が前後することもあります。

教科	英語科	学年	3年生	標準授業時数	140時間(週4時間)
----	-----	----	-----	--------	-------------

○教科について

目 標	教科目標	外国語を通じて、言語や文化に対する理解を深め、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度の育成を図り、聞くこと、話すこと、読むこと、書くことなどのコミュニケーション能力の基礎を養う。
	具体目標 (到達目標)	<p>(1) 初歩的な英語を聞いて話し手の意向などを理解できるようにする。</p> <p>(2) 初歩的な英語を用いて自分の考えなどを話すことができるようにする。</p> <p>(3) 英語を読むことに慣れ親しみ、初歩的な英語を読んで書き手の意向などを理解できるようにする。</p> <p>(4) 英語を書くことに慣れ親しみ、初歩的な英語を用いて自分の考えなどを書くことができるようにする。</p>

○評価について

評 価 点	知識及び技能	<p>学んだ知識と新しく獲得する知識を深く理解し、学習や生活に活かすことができる。(言語使用の正確さ)</p> <p>[知識] 英語の特徴やきまりに関する事項を理解している。</p> <p>[技能] 実際のコミュニケーションにおいて、日常的な話題や社会的な話題などについて 聞く・読む：内容を捉える技能を身に付けている。 話す：事実や自分の考え、気持ちなどを簡単な語句や文を用いて、話したり伝え合ったりする技能を身に付けている。 書く：事実や自分の考え、気持ちなどを簡単な語句や文を用いて、または正確に用いて書く技能を身に付けている。</p>
	思考力・判断力・表現力	<p>習得した知識・技能を活かして必要な情報を判断し、まとめたものを表現することができる。(言語使用の適切さ)</p> <p>コミュニケーションを行う目的、場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、 聞く・読む：必要な情報や概要、要点を捉えている。 話す：事実や自分の考え、気持ちなどを簡単な語句や文を用いて、話したり伝え合ったりしている。 書く：事実や自分の考え、気持ちなどを簡単な語句や文を用いて書いている。</p>
	主体的に学習に取り組む態度	<p>自ら進んで学習の目標を持ち、自分の進め方で正しいと考え改善することができる。</p> <p>聞く・読む：外国語の背景にある文化に対する理解を深め、話し手や書き手に配慮しながら、主体的に外国語を用いて聞こうとしたり読もうとしたりしている。 話す：外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手や話し手に配慮しながら、主体的に外国語を用いてやり取りしたり発表したりしようとしている。 書く：外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的に外国語を用いて書こうとしている。</p>

評価の方法	○定期試験 ○授業中の活動観察（ペアワーク・グループワーク） ○小テスト ○パフォーマンステスト（ライティング/スピーキング [発表] [やり取り] など）
-------	---

○学習について

学習方法	使用教材	ONE WORLD English Course 3 教育出版 Joyful Workbook 3 新学社
	学習形態	一斉・ペア・グループ
	学校	<ul style="list-style-type: none"> ・準備物をそろえて授業に臨み、先生や友達の話や活動などに集中しましょう。 ・英語を言うときは、お腹から声を出しはっきり聞こえる声で発声しましょう。 ・唇や舌の形に注意して、英語らしい音になるようにしましょう。 ・間違いをおそれず、積極的に発言・質問をしましょう。 ・言語活動では、積極的に英語を使い先生や友達に自分の考えを話しましょう。 ・ファイルを必ず用意し、配布されたハンドアウトはすべて整理、保存しましょう。
	家庭	<ul style="list-style-type: none"> ・家庭学習として、毎日30分は教科書を読んだり、英文をノートに書いたりしましょう。本文は暗誦できるまで練習しましょう。 ・テレビやラジオの英語番組を視聴し、英語力をつけましょう。

○学習内容

月	時数	単元名・項目	学習のポイント
4	10	Review Lesson <i>Washoku, or Japanese Cuisine</i>	2年生までで学んだ内容の復習をする。 和食についての知識をより深めるために、登場人物の体験を聞いて、要点を捉えることができる。
5	14	Lesson 1 Aya's Homestay in Vancouver Activities Plus 1 Tips for Speaking① Useful Expression①	アヤがバンクーバーでしたことや知ったことを理解する。 経験したことをたずね、会話をつなげることができる。 相手を誘うことができる。誘いに応じたり、断ったりすることができる。
6	14	Lesson 2 The Eagles in Hokkaido Listening for Tips① Useful Expression② Tips for Reading②	北海道のワシが置かれた状況を理解する。 自分が継続してきたことを表現することができる。 知らないことばを含む音声を聞いて、概要を推測できる。 乗物での行き方をたずねたり、案内したりすることができる。 出来事の順序を理解しながら文章を読み取ることができる。
7	14	Lesson 3 Space Tourism Activities Plus 2 Tips for Listening②	宇宙旅行や宇宙ゴミについて話されていることを理解することができる。 ニュースの概要や要点をとらえることができる。
8	6	Project 1 Reading 1 Lighting Up a Corner	魅力的な商品やサービスを考え、コマーシャル原稿で表現することができる。 国境を越えて大きな功績を残した人の生き方を理解することができる。
9	14	Lesson 4 People Who Support Success Tips for Writing①	紹介されている人物がそれぞれどんな人かを理解することができる。「自分がどんな人物になりたいか」を表現することができる。 読み手に分かりやすいように工夫して文章を書くことができる。

○学習内容

月	時数	単元名・項目	学習のポイント
4	13	Unit0“My Spring Vacation” Unit1 “What can we experience on a trip?”	クラスメイトのことをよりよく知るために、これまでに学んだことを用いて、自分が経験したことを伝え合うことができる。 旅行の予定を説明したり、海外で経験できることなどについて伝えることができる。
5	18	◆Real Life English1 「機内放送」 ◇Grammar for Communication1 Unit2 “What is local food?” ◆Real Life English2 「旅行先で」 ◇Grammar for Communication2	◆機内放送を聞き、必要な情報を聞き取ることができる。 場面や相手に応じて、ていねいに許可を求めたり、依頼したりすることができる。 日本や外国の料理のことを知り、食文化の歴史や変化について考える。 ◆場面や相手に応じて、ていねいに許可を求めたり、依頼したりすることができる。
6	14	Unit3 “What kind of job are you interested in?” ◆Real Life English3 “Learning <i>Technology</i> in English” ◇Grammar for Communication3	自分の将来像や夢について考える。 ◆インタビューを聞き、質問の内容や答えを聞き取ることができる。 ロボットが活躍する社会について考えるために、ロボットの用途や長所をまとめ、考えを伝え合ったり書いたりすることができる。
7	8	Stage Activity1 “My Favorite Japanese Food”	自分のいちばん好きな日本食について、その特徴や好きな理由を発表することができる。
8	7	Let’s Read1 “History of Clocks”	説明文を読み、時計についての歴史を読み取ったり、説明したりすることができる。
9	14	Unit4 “What is important in a homestay?” ◆Real Life English4 「ホームステイのお礼状」 ◇Grammar for Communication4	日米の生活習慣や文化のちがいを知り、ともに暮らすヒントを考える。 ◆お世話になった人に、手紙で感謝の気持ちを伝えることができる。
10	14	Unit5 “What design is good for everyone?” ◆Real Life English5 「アナウンス・案内」 Learning <i>Social Studies</i> in English	だれもが使いやすいものや、暮らしやすい社会について考える。 ◆展示・販売会で流れるアナウンスやスタッフの案内を聞き、イベントなどの情報を聞き取ることができる。
11	18	Unit6 “How can we make a good presentation?” ◆Real Life English6 「電車の乗りかえ」 ◇Grammar for Communication5 Stage Activity2 “My School and School Life”	身近なトピックを通して、調査や発表の効果的な方法について考える。 ◆状況や相手の要望に応じて、乗り物での行き方を伝えることができる。 自分の学校や学校生活について、具体例をまじえながら説明することができる。
12	7	Let’s Read2 A Glass of Milk	物語を読み、場面や登場人物の心情の変化を読み取ったり、気持ちをこめて音読したりすることができる。
1	8	Unit7 “What are World Heritage sites and their problems?”	世界遺産の特徴や抱える問題について知り、私たちが取るべき行動について考える。
2	12	◆Real Life English7 買い物 ◇Grammar for Communication6 Stage Activity3 Let’s Have a Discussion	◆自分の好みや要望を伝えながら買い物をすることができる。 自分の立場を明確にして、意見を述べることができる。
3	7	Let’s Read3 Picture and Our Beautiful Planet	人物の伝記を読んで、時系列を整理しながら内容を理解することができる。
計	140		

【注意】内容が前後することもあります。